

臨床腫瘍科

久田原郁夫

臨床腫瘍科は、平成 11 年に設立され、腫瘍内科、腫瘍外科、緩和ケア内科の 3 科の総合科となっています。所属する医師は、すべて兼任で各々の専門領域のがん診療をおこなっています。

毎週開催している臨床腫瘍科カンファレンスでは、外来化学療法室で発生した毒性の分析、検討および新規の症例検討をおこなっています。また定期的行事として、月 1 回 Cancer Board、がん薬物療法委員会を当科が主導でおこなっています。また、がん診療に関連する様々なテーマでオンコロジーセミナーを全職員対象に年 6 回講堂で開催しております。これらの行事はがんの診断、治療に関して総合的かつ横断的に討論し知識を深めるよい機会となっています。

がんの種類は多彩でその臨床像も個人によって一様ではありません。また、新規の抗がん剤、分子標的薬、免疫チェックポイント阻害剤が続々と発売され国内外で多くの臨床試験がおこなわれ治療方法の選択肢が広がってきています。各種の画像診断、病理診断および分子生物学的診断も日々進歩をとげています。このような環境で、診断、治療において主科のみならず個別的でかつ総合的な判断が求められる機会が増えてきています。またがん治療に特化した看護師、薬剤師が積極的に介入することで患者さんは多くの恩恵を受けています。このように今や、がん治療はチーム医療が基本となっておりますが、臨床腫瘍科はその司令塔の役目を担っていきたいと考えています。

【2016 年度 研究発表業績】

A-0

Nakamura K, Ukawa S, Okada E, Hirata M, Nagai A, Yamagata Z, Ninomiya T, Muto K, Kiyohara Y, Matsuda K, Kmatani Y, Kubo M, Nakamura Y, BioBank Japan Cooperative Hospital Group (Ogawara M, et al.), Tamakoshi A : Characteristics and prognosis of Japanese male and female lung cancer patients: The BioBank Japan Project. Journal of Epidemiology 27 : S49-S57, 2017 年 2 月 13 日

Fukuda Y, Omiya H, Takami K, Mori K, Kodama Y, Mano M, Nomura Y, Akiba J, Yano H, Nakashima O, Ogawara M, Mita E, Nakamori S, Sekimoto M: Malignant hepatic epithelioid angiomyolipoma with recurrence in the lung 7 years after hepatectomy: a case report and literature review. Surgical Case Reports 2:31-37, 2016 年 4 月 2 日

Hasegawa H, Taniguchi H, Mitani S, Masuishi T, Komori A, Narita Y, Kadowaki S, Ura T, Ando M, Yatabe Y, Muro K : Efficacy of Second-Line Bevacizumab-Containing Chemotherapy for Patients with Metastatic Colorectal Cancer following First-Line Treatment with an Anti-Epidermal Growth Factor Receptor Antibody. Oncology. 2017 Feb 1. doi: 10.1159/000453336. [Epub ahead of print]

B-2

Kakunaga S, Wakamatsu T, Otani H, Hamada K, Naka N, Kudawara I, Ueda T, Aoki Y, Yoshikawa H :

ADJUVANT CHEMOTHERAPY FOR PATIENTS WITH EXTRASKELETAL OSTEOSARCOMA.

Connective Tissue Oncology Society, Lisbon, 2016 Nov 12

B-4

濱田健一郎、荒木信人、玉井宣行、伊村慶紀、王谷英達、竹中 聡、大島和也、外堀 司、角永茂樹、城山 晋、中 紀文、久田原郁夫、上田孝文、吉川秀樹：上腕骨骨腫瘍に対する術中体外放射線照射自家骨移植を用いた再建症例の術後成績。第 49 回日本整形外科学会 骨・軟部腫瘍学術集会、東京、2016 年 7 月 15 日

伊村慶紀、王谷英達、竹中 聡、大島和也、濱田健一郎、角永茂樹、中 紀文、名井 陽、荒木信人、久田原郁夫、上田孝文、吉川秀樹：当院および関連施設における 40 歳以上骨肉腫症例の治療成績。第 49 回日本整形外科学会 骨・軟部腫瘍学術集会、東京、2016 年 7 月 15 日

高見康二、大宮英泰、安藤性實、木村 剛、宮本 智、小河原光正、栗山啓子、眞能正幸、中森正二、関本貢嗣：20mm 以下の肺癌に対する積極的手術の適応方針と評価。第 57 回日本肺癌学会学術集会、福岡、2016 年 12 月 20 日

B-5

久田原郁夫：転移性骨腫瘍の診断のポイントと新規治療方法。第 40 回法円坂地域医療フォーラム、大阪、2017 年 2 月 25 日

青野奈々：「つらさの包括的評価と症状緩和」「呼吸困難」。大阪府立急性期・総合医療センター 緩和ケア研修会、2016 年 7 月 9 日・10 日

B-6

久田原郁夫：胸椎骨腫瘍。第 84 回関西 SKR 勉強会、大阪、2016 年 9 月 1 日

久田原郁夫：骨巨細胞腫の肺病変に対しデノスマブを投与した症例。第 17 回近畿骨軟部腫瘍談話会、大阪、2016 年 10 月 21 日

久田原郁夫：大腿骨骨腫瘍。第 86 回関西 SKR 勉強会、大阪、2017 年 3 月 16 日

高見康二、大宮英泰、安藤性實、木村 剛、宮本 智、小河原光正、栗山啓子、加賀野井朱里、森 清、眞能正幸：PD-1 阻害剤が奏効した肺腺癌術後多発肺転移の 1 例。第 105 回日本肺癌学会関西支部会、大阪、2017 年 2 月 25 日。